

初の宇津木杯投打躍動

中学ソフトボールで熱戦

気仙沼

第1回宇津木杯中学生交流ソフトボール大会が4月28日、気仙沼小校庭で開かれた。宮城、岩手両県から6チームが出場し、元ソフトボール日本代表監督の宇津木さんらが見守る中、好試合を繰り広げた。

炊き出し、ノック指導も

大会は震災復興を祈願し、気仙沼市のソフトボールスポーツ少年団・気仙沼ホワイトタイガースと、宇津木さんが理事長を務めるNPO法人ソフトボール・ドリームなどが主催し、初めて開いた。

宮城からホワイトタイガースと大谷中(気仙沼市)根白石中(仙台市)、岩手から桜町中、大東中(一関市)前沢中(奥州市)が出場。開会式では、ホワイトタイガースの小山莉奈主将(14)＝鹿折中3年＝が「支援してくれたたくさんの方々に感謝し、最後まで諦めず、全力でプレーします」と選手宣誓した。

3チームずつ2ブロック

大会は震災復興を祈願し、気仙沼市のソフトボールスポーツ少年団・気仙沼ホワイトタイガースと、宇津木さんが理事長を務めるNPO法人ソフトボール・ドリームなどが主催し、初めて開いた。

会場には宇津木さんとともに、元五輪選手の高山樹里さん、千葉美葉さん(旧姓・山田)も駆けつけ、試合の合間を利用

し、各チームにノックしたり、模範投球を披露したりした。昼食ではフーメンとピザの炊き出しも手伝い、選手たちを激励した。

宇津木さんは「昨年7月に同じ場所でソフトボール教室を開催した時は、選手たちに元気な

く心配した。自分のできることはないかと大槻さん(ホワイトタイガース、監督)とも相談し、大会を開催したと語り、「大会が2回、3回と続くことでソフトボールの輪がさらに広がってほしい」と期待した。

試合結果は次の通り。

ブロック	対戦相手	スコア
▽決勝(延長8回)	大東中	8-3
	前沢中	5-2
	前沢中	6-3
	前沢中	2-1
▽準決勝	大東中	8-3
	前沢中	5-2
	前沢中	6-3
	前沢中	2-1



宇津木さん(奥の左から2人目)らが見守る中、熱戦を繰り広げる気仙沼ホワイトタイガースと大谷中の選手